

番号	氏名	抱負
111	小林 謙一	地方会員のニーズを集約し、活発な学術活動が行える環境作りに努め、学会発展に微力ながら貢献して行きたいと考えております。
112	小林 正人	本学会に所属し29年が経過した。その間、長野県、関東支部、本会とMRI技術の探究に勤しんでまいりました。これまでの経験・活動を生かし、日本のMRI技術の向上と共に、本学会の更なる発展のため、微力ではありますが人材育成及び各会の健全で有意義な運営に尽力したいと思います。
113	小松 斉	主に東北支部において、円滑な会務推進・学術向上と会員相互の親睦を深めることに貢献いたします。
114	五味 勉	
115	小味 昌憲	放射線技術の進歩は目を見張るものがあり、診断や治療に大きな役割を果たしている。新しい技術を診断や治療に適用するためには臨床現場で様々な検討や研究をする必要があり、本学会はそのような環境と機会を多くの会員に提供できなければならない。そのために代議員として、会員の細かなニーズを把握し本学会として必要な活動を推進していきたい。
116	小山 修司	当学会には、これまで、研究発表や論文投稿で鍛えていただき研究者として成長させていただきました。また最近では、私の指導学生が当学会での発表を機に大きく成長させていただいております。それらの恩に報いるため、今後も、当学会での学術活動を通して、学会の進歩・発展に寄与するとともに、後進の育成、会員の技術の向上、中部の学術活動の活性化に貢献すべく、会員の代表として会議での発言をして行きたいと思っております。
117	近藤 正司	
118	斎 政博	放射線技術学に関する研究発表、知識の交換ならびに関連団体との連絡提携を図り、学術の進歩発展に寄与するという学会の目的を達成するために、学会の一会員として、地域からの学会運営に少しでも貢献できればと思う。また、研究活動にも積極的に参加し放射線技術のさらなる発展に寄与していきたい。
119	西郷 康正	今までの学会の路線を踏襲しつつ、現在、国際化に向けての事業を推進していきたいと考えております。支部での活動と致しましては、来年度開催の第12回九州放射線医療技術学術大会(鹿児島市開催)の大会長の役を頂き準備しているところです。会員相互の情報および研究の交流を活発に行う機会にしたいと考えております。また、多くの学会が会員数減少に見舞われている中、会員に魅力ある学会にするために努力いたします。
120	齊藤 謙一	日々、放射線技術は進歩しており、学会も国際化を推し進めています。これらを国民に還元するためには、学会員に対しての教育や研究の助成を充実させ、一人一人のレベルアップを図ることは必要であると考えます。これらを達成するために少しでもお役に立てるよう代議員としての役割を担って行きたいと考えております。